

日本は、対潜哨戒機のソナーを利用して中国潜水艦を判別した？全く信じられない

人民網：軍事情報観察 20130524 08:48

最近日本は、中国潜水艦の追尾に成功したと吹聴宣伝している。この宣伝に参加しているのはマスメディアだけでなく、日本の防衛大臣小野寺五典もまたこの事件を公開宣伝している。日本が中国潜水艦の話題を宣伝に使うのは目新しい話ではないが、今回の状況から見て、我々は疑問を禁じ得ない。日本は、対潜哨戒機を利用して他国の潜水艦を追尾し潜水艦の国籍まで弁別できるのだろうか？日本は本当にこのような能力があるのだろうか？

ソナーを利用して潜航中の潜水艦を発見する？発見確率は懐中電灯で針を探すように小さい。

日本は、潜航中の潜水艦を有効に発見できるのだろうか？

潜航中の潜水艦を発見することは、技術的に不可能ではないが、今回日本は、P-3C 対潜哨戒機を使用して潜航中の潜水艦を発見し追尾を継続し、しかも明確にソナーを用いたと述べた。この辺が極めて胡散臭い。

P-3C は、通常海上パトロール時、主としてレーダー及び赤外線監視機器を使って、水上及びシュノーケル航行下の潜水艦を発見する。P-3C が一定数量のソノブイを持っているとしても、ソノブイは通常目標確定或いは攻撃を発起するときに使用する。1 機の航空機が携帯するソノブイの数量には限りがあり、また 1 個のソノブイが探知する海域範囲はおおむね半径数キロ以内である。これらのことから、P-3C が搭載ソノブイを使って大面積の海域を探索し追尾するのは、暗夜に懐中電灯を使って球場の中から針を探すのと同じように不可能に近い。

実際、P-3C は、多くの状況下で潜水艦を発見している。これは、パトロール中、ソナーを使ってシュノーケル航行中或いは水上航行中の潜水艦を発見したものであり、このとき潜水艦は航空機を発見した後潜航している。そして P-3C は潜水艦を追尾し攻撃することが出来た。単純にソナーを使用し或いはソノブイを利用して潜水艦を発見追尾することは相当困難である。特に核潜水艦のような水面下長期間巡航する潜水艦を発見し追尾できる確率は極めて小さい。

ソナーを用いて潜水艦の国籍を判別する？全く信じられない。

P-3C がソナーを用いて潜航中の潜水艦を発見する確率が極めて小さければ、ソナーを用いて国籍を判別することは更に難しい。

ソナー（中国語：声呐）は、名前から見ても騒音を収集する機器である。潜水艦はそれぞれ固有の騒音を出す特性があるが、この騒音特性は極めてあいまいなものである。潜水艦によって出す騒音は様々であり、たとえ同型同種の潜水艦であってもそれぞれの潜水艦の出す騒音は同じではない。特に低速で航行中の騒音特性は明確でない。ソナーで国籍を判別するのは極めて困難だ。

日本は、今回の宣伝で官側は潜水艦の国籍を明確にしなかった。小野寺五典は、”日本はすでに潜水艦の国籍を判定した。しかし写真が無く、また潜水艦が日本領海に侵入しなかったことから潜水艦の国籍を公表することは不適當である”と述べた。

中国潜水艦だと宣伝したのは誰か？一方は日本のマスメディアである。他方は日本の官側のメンバーである。例えば”見たところ中国潜水艦に違いない””中国潜水艦の疑いがある”等々。これらの言い方は、自信欠如のためであり、極めてあいまいだ。別の角度から見ると、この地区は各国の潜水艦が頻繁に活動する海域であり、周辺の潜水艦大国は一国だけでない。このような状況下で“日本の所謂”中国潜水艦と判別した”との宣伝は全く信用できない。

日本が米国と韓国を含めた 3 国間の対潜情報のやりとりを要求したことは、二つの方面から理解できる。一方面は、対潜情報の交流である。他の方面は、潜水艦発見時の初期段階で国籍を判別する時間を短縮することが出来る。この角度から見ると、日本は、自らの対潜技術に対して、宣伝するほどには自信が無いようである。

日本が中国潜水艦の動向を宣伝するのは中国海軍に圧力をかけるためである。

日本のマスメディアは今回の事件で次のように述べた。すなわち”外国の潜水艦がこの海域で活動する目的は二つある。一つは情報収集である。他は、存在の誇示である”と。日本のマスメディアは次のように分析した。”もし第一の目的ならば、潜水艦は深く潜り、敵艦艇の動向を探るはずである。もし後者の目的であれば、潜水艦は故意に存在を顕示し、対象国に圧力を加えるであろう”と。日本は、可能性の分析において次のように述べた。すなわち、”中国潜水艦

が日本の接続水域に進入したのは存在を誇示するためである”と。日本のマスメディアは”存在を誇示することによって脅しの効果を狙っている”との防衛省官員の話を引用した。日本のマスメディアは”この潜水艦は、日本政府が13日に接続水域に侵入したと公表した後、引き続き平静に沖縄周辺を巡航している”と述べた。このことから、日本はこの事件にびくびくしているように見える。同時に日本は、今回の潜水艦発見事件を相手側が故意に発見させ（国籍を）判別させたと見ている。

以上のことから、対潜哨戒機のソナーを使って潜水艦の国籍を判別したとの話は、技術的に見て信用できない。それなのになぜ日本は中国潜水艦の話題を大々的に宣伝したのか？それは日本の外交と内政を考慮したからかもしれない。中日の海上島嶼及び海上権益の争いから見ると、日本は各種、各様の話題を懸命に利用し国内の注意力を吸引しようとすると同時に、米国を日本側に引き寄せようとしている。實際上、今回の所謂中国潜水艦の接続水域進入問題は、古い話の焼き直しに過ぎない。当然、この機会に日本の対潜能力を見せびらかし、中国海軍に圧力をかけようとしているとも考えられる。

以上